

多摩ニュータウン諏訪・永山地区における高齢者の屋外活動に関する調査

多摩ニュータウン 高齢者 屋外活動

正会員 ○久家 あかね*
同 余 錦芳**
同 松本 真澄***
同 上野 淳****

1. 研究の背景と目的 高齢化が加速度的に進行する中、高齢者が住み慣れた地域でより豊かに安全で快適な生活を送れるようなまちづくりの重要性が増している。本研究では多摩ニュータウン（以下：多摩NT）初期開発地区であり、特に高齢化の進む諏訪・永山地区において高齢者の屋外活動の実態を把握し、活動場所や活動様態について分析することで、高齢者の地域継続居住を支援するまちづくりに関する知見を得ることを目的とする。

2. 調査概要 諏訪・永山の集合住宅地区を対象に、表1に示す通り4つの時間帯でマッピング調査を行い、性別・活動形態（移動/滞留）・行為内容を記録した。さらに、活動が多い永山南公園については早朝から夕刻まで30分間隔でマッピング調査を行った。

3. 高齢者の屋外活動の実態

3.1 高齢者の屋外活動の分布 調査により得られた結果を4時間帯分重ねたものを図1に示す。諏訪・永山地区を東西・南北に貫く主要なペDESTリアンデッキ（以下：PD）と永山南公園・永山北公園・諏訪北公園に高齢者が多く分布していることが読み取れる。

3.2 場所別にみた高齢者の屋外活動 屋外活動の行為内容を分類し、内容毎の出現頻度を場所別・時間帯別に集計したものを図2に示す。PDでは移動が多く、公園では滞留が多い。団地構内では移動が多くみられたが、公園に次いで滞留が多く、植木の手入れやゴミ出しはこの場所ならではの滞留活動といえる。

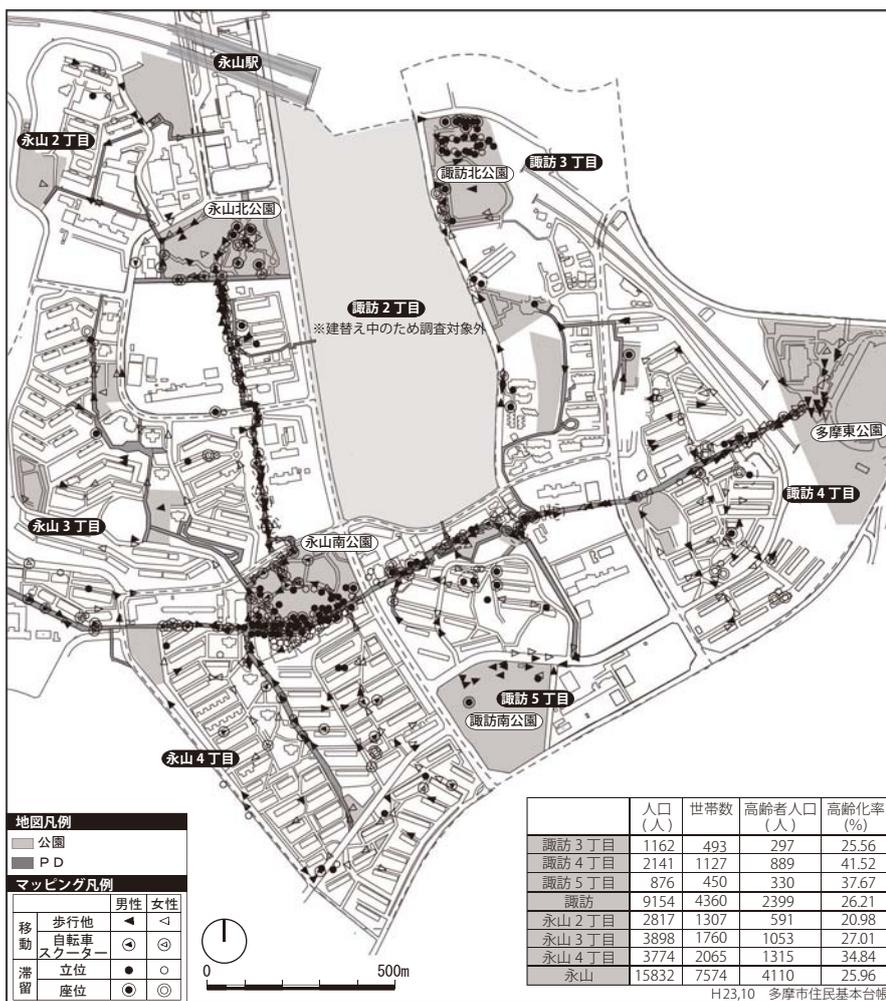


表1 マッピング調査概要

対象地区	諏訪3・4・5丁目	永山2・3・4丁目	永山南公園						
マッピング対象	高齢者(自視で調査員が判断)		全年齢層						
方法	調査員巡回による観察及び記録								
日時(2011年)	10月13日	10月17日	11月4日						
	6:30, 9:30, 12:30, 15:30		6:00~16:30(30分ごと)						
天気*	晴れ	晴れ	晴れ						
気温(最低/最高)	(13.8°C/22.0°C)	(14.5°C/24.8°C)	(9.8°C/21.3°C)						
	*気象庁HPより								
場所	行為内容	6:30	9:30	12:30	15:30	合計	事例		
PD	歩行	36	82	47	57	222			
	杖利用歩行	0	1	3	1	5			
	犬の散歩	6	0	0	0	6			
	ランニング	2	0	0	1	3			
	自転車	3	15	18	21	57			
	スクーター	0	0	0	2	2			
	掃除	2	1	1	0	4			
	立ち話	0	4	4	4	12			
	座っている	0	1	5	3	9			
	時間帯別人数	49	104	78	89	320			
公園	歩行	11	22	9	11	53			
	杖利用歩行	0	2	0	0	2			
	犬の散歩	2	2	0	0	4			
	ウォーキング	13	0	0	0	13			
	ランニング	3	0	1	0	4			
	自転車	1	6	5	6	18			
	運動	67	4	14	16	101			
	立ち話	0	3	0	2	5			
	座っている	0	4	6	4	14			
	おしゃべり	0	0	2	5	7			
その他	0	0	0	1	1				
時間帯別人数	97	44	37	44	222				
PL	歩行	0	1	0	0	1			
	犬の散歩	1	0	0	0	1			
	運動	1	1	0	0	2			
	掃除	0	1	0	0	1			
	座っている	1	0	4	0	5			
	時間帯別人数	3	3	4	0	10			
	団地構内	歩行	21	26	19	21		87	
		杖利用歩行	0	3	2	0		5	
		犬の散歩	2	0	0	2		4	
		ウォーキング	2	-1	0	0		3	
自転車		2	6	4	1	13			
立ち話		6	6	8	3	23			
座っている		0	0	2	0	2			
植木		3	2	2	3	10			
ゴミ出し		2	1	0	0	3			
その他		0	4	0	0	4			
時間帯別人数	38	49	38	29	154				
道路	歩行	7	13	11	9	40			
	杖利用歩行	0	1	0	0	1			
	犬の散歩	2	0	0	0	2			
	ランニング	2	0	0	0	2			
	自転車	0	1	3	0	4			
	立ち話	0	0	0	2	2			
	バス待ち	1	3	0	0	4			
	時間帯別人数	12	18	14	11	55			
	合計人数	199	218	171	173	761			

図1 諏訪・永山地区における高齢者の屋外活動の分布及び各地区の高齢化率

図2 屋外活動の場所と行為内容

Analysis of the Elderly's Outdoor Activities at Suwa-Nagayama District in Tama New Town

KUYA Akane, YU Chingfang, MATSUMOTO Masumi, UENO Jun

表3 各地区における移動・滞留から見た屋外活動人数

	移動				滞留				合計	公園面積 ^{*1} (街区/近隣/地区/総合公園)	歩行者 専用道路
	6:30	9:30	12:30	15:30	6:30	9:30	12:30	15:30			
諏訪3丁目	10	6	7	4	2	10	14	17	70	4.6ha (街区1.7/近隣2.9)	5.5ha
諏訪4丁目	36	33	12	16	4	5	11	5	122	8.1ha (街区1.0/総合7.1)	
諏訪5丁目	23	26	18	19	4	4	9	5	108	3.2ha (街区0.5/近隣2.7)	
永山2丁目	11	37	27	27	2	3	6	1	114	4.7ha (街区2.3/近隣2.4)	
永山3丁目	15	24	13	26	0	2	3	4	87	1.1ha (街区1.1)	
永山4丁目	21	56	45	40	71	12	6	9	260	2.9ha (街区0.7/近隣2.2)	9.9ha
合計	116	182	122	132	83	36	49	41	761		

*1資料：多摩市みどり環境課 H23.4.1
*2資料：都市基盤調査 H4.5

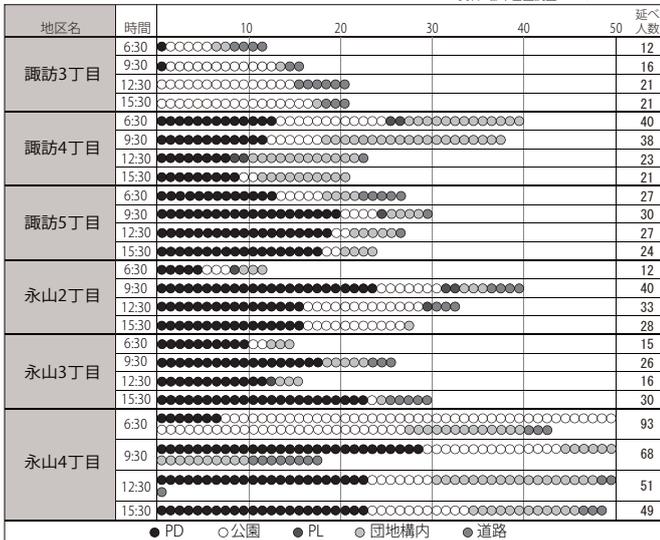


図3 各地区における場所別に見た屋外活動人数

3.3 地区別にみた高齢者の屋外活動

1) 活動形態別人数 屋外活動を移動と滞留に分け、各地区の時間帯毎の人数を集計した結果を表3に示す。屋外活動は、永山南公園が位置する永山4丁目ですべての時間帯で圧倒的に多くみられた。活動形態別でみると、諏訪3丁目以外の地域で移動が滞留を上回り、移動は9:30に、滞留は6:30に最多である。

2) 活動場所の分布 図3に各地区における場所別に見た屋外活動人数を示す。主要なPDが通らない諏訪3丁目では公園の割合が高い。PDでの出現割合が高い諏訪5丁目と永山3丁目は移動が主だが、表3より活動形態別人数を比較すると、PDにベンチが設けられている諏訪5丁目ではより多くの滞留がみられる。

3) 地区ごとの公園利用の実態 近隣公園が主要なPDと連結して配置されている諏訪3丁目、永山2丁目、永山4丁目では公園の割合が高い。一方、近隣公園がPDと連結せず駅からの距離も離れている諏訪5丁目では公園での割合が低くなっている(図3)。

4. 永山南公園における屋外活動

4.1 利用者時刻変動 早朝6:30からのラジオ体操、9:30～12:30の買い物や散歩で多くの高齢者が屋外に出てくる。その後人数は一時減少するが、15:30以降小学生と共に高齢者の姿も多くなる。高齢者の割合については、6:00、6:30とお昼前に高く、7:00から8:30では低い結果となった。午後は安定してほぼ50%であった。

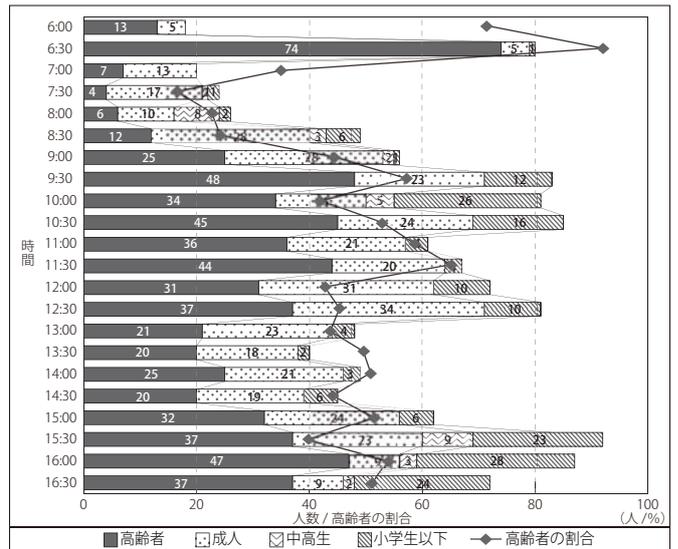


図4 永山南公園の利用者時刻変動

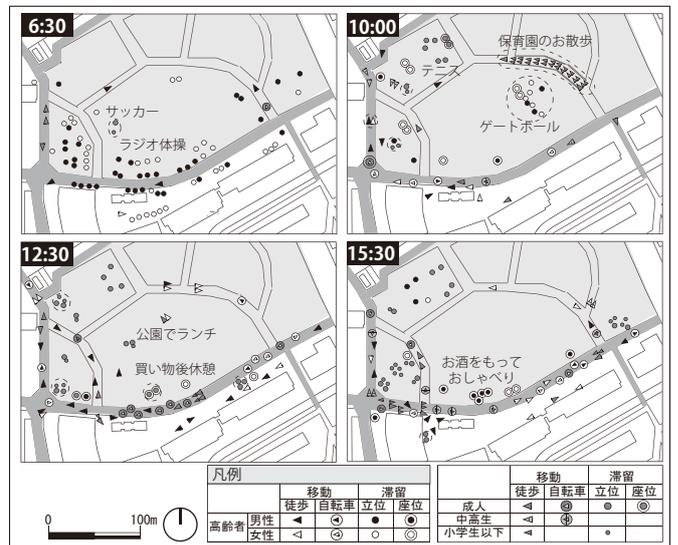


図5 永山南公園における典型的な活動場面

4.2 永山南公園でおこる典型的な屋外活動 公園における典型的な活動場面を図5に示す。6:30にはラジオ体操を行う高齢者が70人程度集まり、毎日のコミュニケーション活動が営まれる。10:00には近隣の保育園のお散歩やテニス・ゲートボールなど芝の公園ならではの自由な活動がみられる。12:30には昼食や休憩などの光景がみられる。15:30には学校帰りの小学生が多くみられるやお酒を飲みながら談話する高齢者が多くみられる。

5. まとめ 1) PDは高齢者にとって主要な移動空間であるが、ベンチを配置することで滞留活動を促す空間になる可能性がある。2) 近隣公園の利用が多く、テニス場やゲートボール場などを設けることでより活発な高齢者の屋外活動を誘発する。3) 公園はPDと連結していることで、より多くの屋外活動が営まれる傾向があり、PDと公園のネットワークの重要性を示唆する。

* 千葉大学大学院 工学研究科 博士前期課程
** 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科
都市システム科学域 博士後期課程・修士(都市科学)
*** 首都大学東京大学院 建築学域 助教
**** 首都大学東京大学院 建築学域 教授・工博

* Graduate Student., Graduate School of Engineering., Chiba Univ.
** Doctoral Course., Graduate School of Urban Environmental
Sciences., Tokyo Metropolitan Univ., M. Urban Science.
*** Assistant Prof., Graduate School of Arch., Tokyo Metropolitan Univ.
**** Prof., Graduate School of Arch., Tokyo Metropolitan Univ., Dr. Eng.